

2013年3月期第3四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

2013年1月
大阪ガス株式会社

I. 13.3期第3四半期実績

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

四半期表記に関する注記 : 特に断りのない限り、「四半期」は「四半期累計期間」を表します。

2013年3月期 第3四半期決算について、
簡単にご説明させていただきます。

13.3期第3四半期決算のポイント

■ 概況

連結売上高	LNG価格の上昇に伴い、 原料費調整制度に基づくガス販売価格が上昇したほか、 LNG販売や電力事業売上が増加したことなどから、 前年比10.9%(947億円)増収の9,635億円。
連結営業利益	時期ずれ差損の縮小(329億円→15億円)により、 ガス粗利益が増加したほか、 電力事業利益や連結子会社利益が増加したことなどから、 前年比162.0%(417億円)増益の674億円。

■ ガス販売量

家庭用	気水温が前年より低く推移し、給湯・暖房需要が増加したことから、 前年比1.5%(20百万m³)増加の1,342百万m³。
商・公・医療用	お客さま先での省エネルギー推進などにより、 前年比2.2%(25百万m³)減少の1,112百万m³。
工業用	お客さま設備の稼働減少などにより、 前年比0.6%(20百万m³)減少の3,146百万m³。

■ その他

通期見通し | **10月発表の見通しを据え置き。**

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

2013年3月期 第3四半期は、増収・増益の決算となりました。

連結売上高は、LNG価格の上昇に伴い、ガス販売価格が上昇したほか、沖縄電力さま向けにLNG卸供給を開始したことや、電力事業売上が増加したことなどから、前年と比べて10.9%、947億円の増収となり、過去最高の9,635億円となりました。

連結営業利益は、時期ずれ差損が314億円縮小し、ガス粗利益が増加したほか、電力事業利益や連結子会社利益が増加したことなどから、417億円の増益となり、前年の約2.6倍にあたる674億円となりました。

ガス販売量について、家庭用は、気水温が前年より低く推移し、給湯需要や暖房需要が増加したことから、前年を1.5%上回る、13億4,200万m³となりました。

商・公・医療用は、お客さま先での省エネルギーが進んだことなどから、前年を2.2%下回る、11億1,200万m³となりました。

工業用は、景気の減速により、お客さま設備の稼働が減少したことなどから、前年を0.6%下回る、31億4,600万m³となりました。

なお、10月に発表しております通期の見通しについては、そのまま据え置きといたします。

13.3期第3四半期ガス販売実績

45MJ/m ³		A. 13.3期3Q	B. 12.3期3Q	前年差	前年比
個 別	お客さま数(千件)	7,067	7,031	+35	+0.5%
	新設工事件数(千件)	57	52	+5	+10.2%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	25.6	25.3	+0.3	+1.2%
	家庭用	1,342	1,322	+20	+1.5%
	商・公・医療用	1,112	1,137	-25	-2.2%
	工業用	3,146	3,167	-20	-0.6%
	業務用計	4,259	4,304	-45	-1.1%
	他ガス事業者向け	337	342	-5	-1.5%
	(うち大口供給)	(3,647)	(3,694)	(-47)	(-1.3%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	5,938	5,968	-30	-0.5%
連結ガス販売量	5,962	5,991	-30	-0.5%	

資料の4ページに、ガス販売実績をまとめています。

大阪ガス個別のガス販売量は、前年を0.5%下回る、59億3,800万m³となりました。

工業用ガス販売は、景気低迷の影響により、昨年夏以降、前年割れが続く厳しい状況ではありますが、コージェネレーションの普及拡大や、燃料転換などにより、需要開発を進めていきたいと考えています。

13.3期第3四半期実績 I

()内は連単倍率

連結:億円	A. 13.3期3Q	B. 12.3期3Q	前年差	前年比	備考
売上高	(1.24) 9,635	(1.26) 8,687	+947	+10.9%	ガス販売価格の上昇、 附帯事業売上の増加等
営業利益	(1.67) 674	(25.39) 257	+417	+162.0%	ガス粗利益の増加、 附帯事業利益の増加等
経常利益	(1.52) 710	(5.62) 261	+448	+171.5%	営業外収益の増加、 持分法投資利益の増加
四半期純利益	(1.43) 458	(5.36) 129	+329	+254.8%	

		A. 13.3期3Q	B. 12.3期3Q	前年差
連結ガス販売量	百万m ³	5,962	5,991	-30
時期ずれ差損益	億円	-15	-329	+314
原油価格	\$/bbl	114.0	113.1	+0.9
為替レート	円/\$	80.0	79.0	+1.0
連結子会社数		131	132	-1

13.3期3Q原油価格実績は、12月速報値までの平均。

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

資料の5ページに、決算数値をまとめています。

第3四半期の実績については、
電力事業利益や連結子会社利益などを中心に、
想定を上回って進捗していますが、
足元の円安傾向を踏まえると、第4四半期には、時期ずれ差損が拡大し、
ガス粗利益が減少するとみられることなどから、冒頭で触れました通り、
通期の見通しについては、据え置きといたします。

13.3期第3四半期実績 II

連結:億円	A. 13.3期 3Q末	12.3期 3Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	14,988	14,466	14,757	+230	
自己資本	7,162	6,456	6,845	+316	
有利子負債	5,559	5,970	5,413	+146	
在籍人員	20,174	20,057	19,818	+356	
自己資本比率	47.8%	44.6%	46.4%	+1.4	
D/E比率	0.78	0.92	0.79	-0.01	

	A. 13.3期3Q	B. 12.3期3Q	A-B	備考
設備投資	815	591	+224	豪州LNGプロジェクト、 米国シェールガス・オイル開発 プロジェクト等への投資
減価償却費	613	694	-81	特別償却が前年で終了
フリーキャッシュフロー	178	-171	+349	利益の増加に伴うキャッシュフローの増加

フリーキャッシュフロー＝

営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出。

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

資料の6ページには、資産・負債項目などの実績をまとめています。

設備投資については、オーストラリアのLNGプロジェクトや、アメリカ・テキサス州シェールガス・オイル開発プロジェクトへのキャッシュアウトが発生したことなどから、前年を224億円上回る815億円となりました。

7ページ以下には、さらに詳細な決算の差異分析資料、セグメント別情報、投資の進捗状況、通期の見通しなどの資料を付けておりますので、併せてご覧下さい。

以上で、2013年3月期 第3四半期決算についてのご説明を終わらせていただきます。

II. 13.3期通期見通し

10月発表時の見通しから、変更ありません。

13.3期ガス販売見通し

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

45MJ/m ³		A. 13.3期 見通し	B. 12.3期 実績	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,078	7,045	+32	+0.5%
	新設工事件数(千件)	82	81	+1	+0.9%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	31.9	32.6	-0.7	-2.1%
	家庭用	2,229	2,271	-42	-1.9%
	商・公・医療用	1,497	1,575	-77	-4.9%
	工業用	4,322	4,355	-34	-0.8%
	業務用計	5,819	5,930	-111	-1.9%
	他ガス事業者向け	459	480	-21	-4.4%
	(うち大口供給)	(4,982)	(5,062)	(-80)	(-1.6%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	8,507	8,681	-174	-2.0%
連結ガス販売量		8,538	8,711	-174	-2.0%

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

13.3期見通し I

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。 ()内は連単倍率

連結:億円	A. 13.3期 見通し	B. 12.3期 実績	A-B	A-B/B (%)
売上高	(1.25) 13,730	(1.25) 12,947	+782	+6.0%
営業利益	(1.58) 940	(1.96) 772	+167	+21.6%
経常利益	(1.44) 950	(1.84) 756	+193	+25.5%
当期純利益	(1.34) 610	(1.76) 452	+157	+34.9%
SVA	277	119	+158	+132.2%
連結ガス販売量	百万m ³ 8,538	8,711	-174	
時期ずれ差損益	億円 -29	-307	+277	
原油価格	\$/bbl 114.2	114.2	+0.1	4Q前提は115\$/bbl
為替レート	円/\$ 80.0	79.1	+0.9	4Q前提は80円/\$

為替レートおよび原油価格のみ、10月～12月実績を反映した見通しに置き換えています。

SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

13.3期見通し II

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

連結:億円	A. 13.3末見通し	B. 12.3末実績	A-B
総資産	15,755	14,757	+997
自己資本	7,253	6,845	+407
有利子負債	5,840	5,413	+426
在籍人員	19,992	19,818	+174
自己資本比率	46.0%	46.4%	-0.4
D/E比率	0.81	0.79	+0.01
	A. 13.3期見通し	B. 12.3期実績	A-B
設備投資	1,011	871	+139
減価償却費	848	936	-87
フリーキャッシュフロー	841	790	+50
ROA	4.0%	3.1%	+0.9
ROE	8.7%	6.7%	+2.0
EPS (円/株)	29.3	21.7	+7.6
BPS (円/株)	348.3	328.8	+19.6

フリーキャッシュフロー= $\frac{10}{10}$
 営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出) - 通常の設備投資による支出。

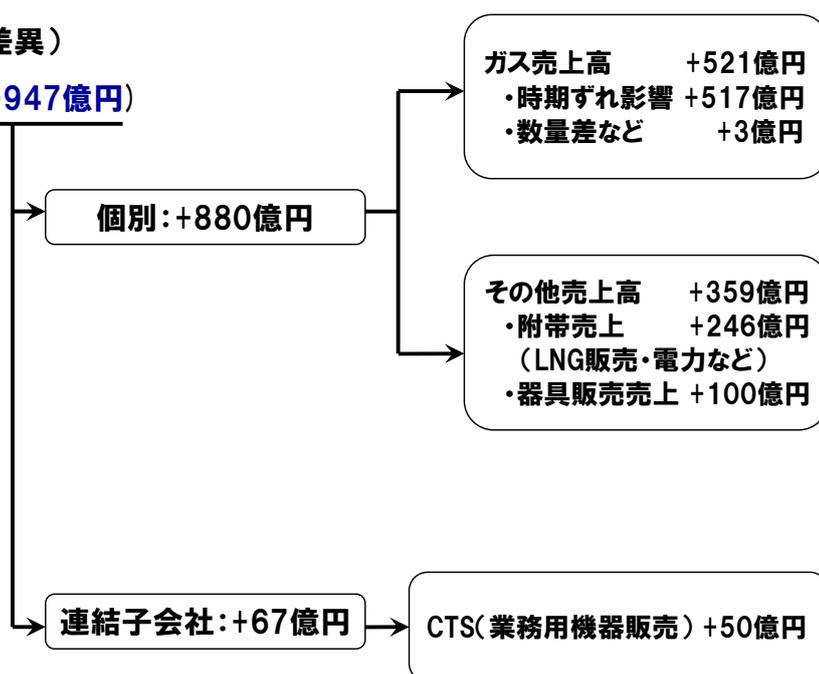
Design Your Energy 夢ある明日を


III. 参考資料

13.3期第3四半期の売上高差異(対前年同期)

12.3期3Q → 13.3期3Q (差異)

8,687億円 9,635億円 (+947億円)



(*)CTS…クリエイティブテクノソリューション

Design Your Energy 夢ある明日を

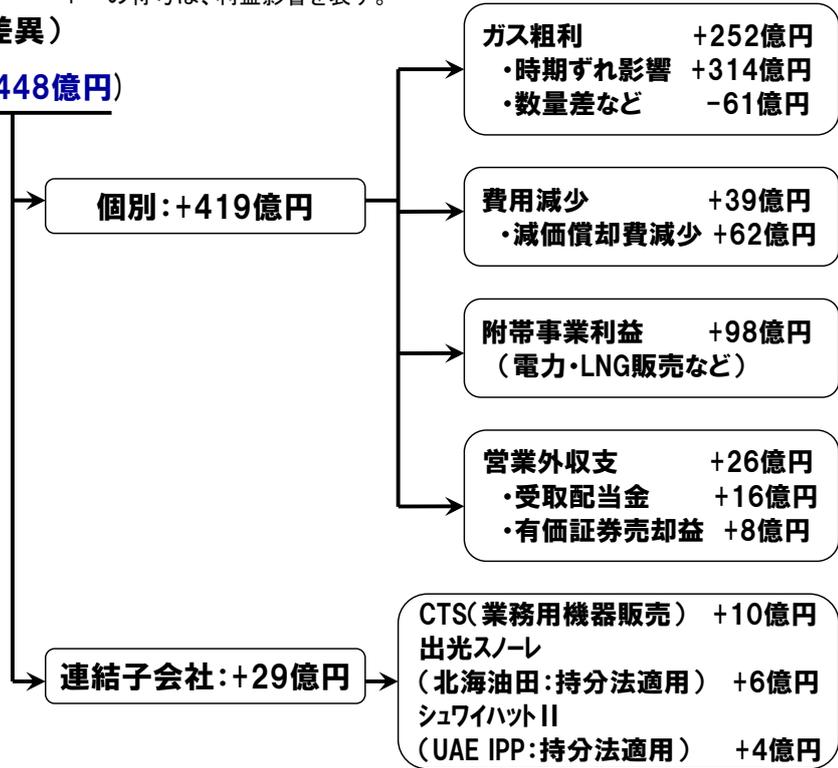
OSAKA GAS

13.3期第3四半期の経常利益差異(対前年同期)

+-の符号は、利益影響を表す。

12.3期3Q → 13.3期3Q (差異)

261億円 710億円 (+448億円)



(*) CTS…クリエイティブテクノソリューション

Design Your Energy 夢ある明日を



13.3期第3四半期セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	13.3期 3Q	12.3期 3Q	13.3期 3Q	12.3期 3Q	
ガス	7,197	6,501	213	-93	売上:ガス販売価格の上昇 利益:時期ずれ差損の縮小
LPG・電力・ その他エネルギー	1,542	1,289	293	187	売上:LNG販売・電力事業売上増 利益:電力事業・LNG販売利益増
海外エネルギー	78	79	62	47	持分法投資利益増 (北海油田・UAE IPPなど)
環境・非エネルギー	1,292	1,305	133	129	売上:不動産事業売上減など 利益:情報事業利益増など
消去または全社	-476	-489	20	16	
連結	9,635	8,687	723	287	

(*) セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益

13.3期セグメント別見通し

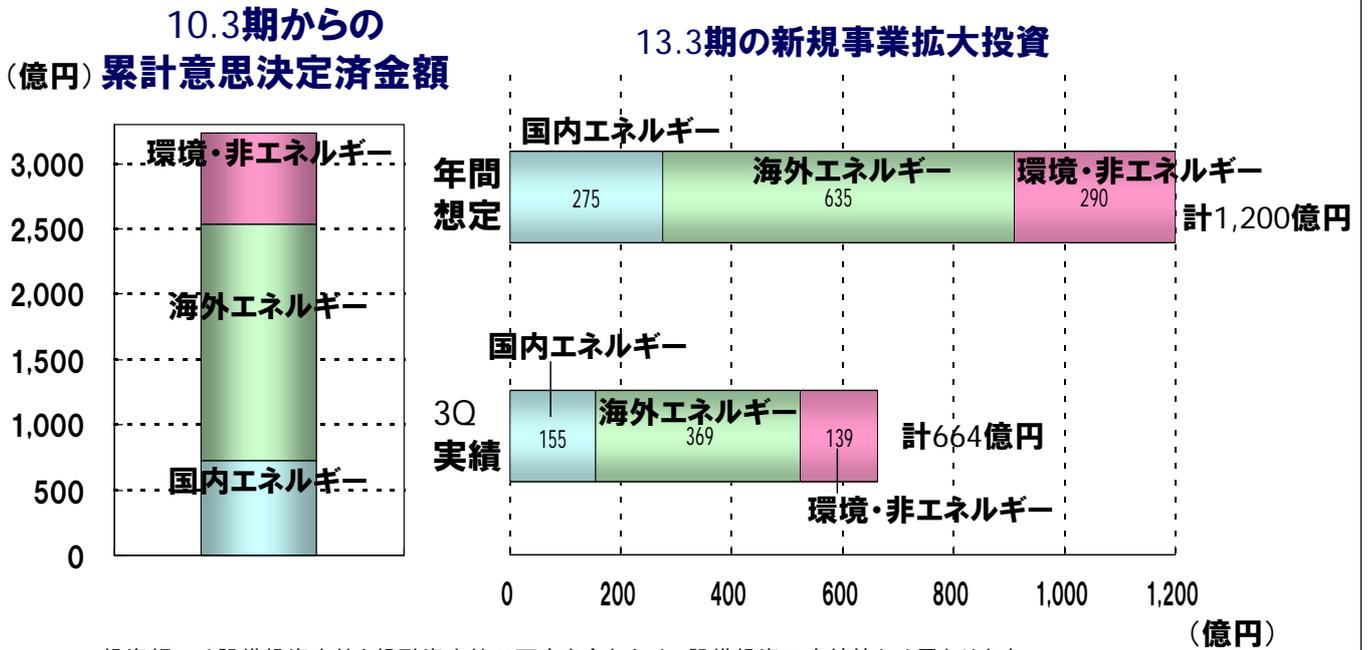
- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	13.3期 見通し	12.3期 実績	13.3期 見通し	12.3期 実績	
ガス	10,250	9,765	385	209	売上:ガス販売価格の上昇 利益:時期ずれ差損の縮小
LPG・電力・ その他エネルギー	2,245	1,980	350	324	売上:LNG販売増など 利益:LNG販売利益増など
海外エネルギー	105	111	65	86	持分法投資利益減 (北海油田、スペインLNG基地)
環境・非エネルギー	1,810	1,845	170	185	売上:不動産事業売上減など 利益:ケミカル事業利益減など
消去または全社	-680	-755	22	22	
連結	13,730	12,947	992	829	

(*) セグメント利益=営業利益+持分法投資利益

13.3期第3四半期新規事業拡大投資実績

- 10.3期からの累計意思決定済金額は**3,235億円**(10.3期～14.3期計画額の81%)。
- 13.3期の第3四半期までの投資実施額は**664億円**(年間計画額の55%)。



投資額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

ガス販売量の前年同期差異分析

	家庭用	商公医療用	工業用
調定件数	+0.3%	--	--
検針日数影響	+0.9%	--	--
気温影響	+0.9%	-0.7%	--
需要開発	} -0.6%	+2.1%	+2.6%
稼動増減その他		-3.7%	-3.3%
合計	+1.5%	-2.2%	-0.6%

13.3期第3四半期月次ガス販売の推移

前年同月比 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	備考	
家庭用	100.7	98.0	90.0	102.6	101.6	88.8	87.3	111.9	117.7	101.5	気温及び検針日数の影響	
商・公・医療用	99.1	97.5	90.7	90.2	96.2	101.2	95.3	102.2	110.8	97.8	6月・7月は冷房需要期の低気温の影響	
工業用	99.6	102.8	100.6	102.4	96.7	96.1	98.3	99.2	98.9	99.4		
業種別	機械	121.2	109.2	111.2	118.4	104.6	105.4	106.4	104.5	95.3	108.2	コージェネレーション等 お客さま設備の稼働増
	金属	96.4	102.5	104.3	102.6	96.9	95.1	88.6	85.0	86.0	95.1	8月以降、景気低迷による お客さま設備の稼働減
	ガラス	100.5	97.1	99.4	100.0	99.5	100.9	94.8	107.0	101.6	100.0	
	食品	99.6	100.5	99.2	104.1	103.3	100.2	102.6	102.0	103.3	101.6	
	化学	96.1	102.5	101.0	105.8	102.3	102.0	96.8	99.0	119.2	102.6	
卸	96.7	92.8	93.2	108.4	90.5	92.1	111.2	100.9	103.6	98.5		
計	99.8	100.0	96.1	100.1	96.8	96.2	96.4	102.8	106.5	99.5		

年度見通しに対するリスク要因

- **気温・水温**
 - 気温・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。
- **原油価格**
 - LNG価格は原油価格にリンクするために、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度第4四半期の粗利益は1億円変動する可能性がある。
- **為替レート**
 - LNG価格は米ドル・円の為替レートにリンクするために、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度第4四半期の粗利益は13億円変動する可能性がある。
- **原料費**
 - 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。
- **金利**
 - 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間6億円変動する可能性がある。